

2012年9月24日

「3. 11 震災伝承研究会」第2次提言

—震災遺構保存対象物第1回選考結果—

「3. 11 震災伝承研究会」

研究会のメンバー及び自治体からの提案等をもとに保存が望まれる震災遺構を第1回分として選考しました。

研究会では、東日本大震災を後世に確実に伝えるために一つでも多くの遺構が残されることを期待しています。なお時期的に保存の決定が難しい自治体におかれましては「仮保存」という方法も含めて検討していただければと思います。

○対象自治体：宮城県内の沿岸自治体15市町

○結果は全体で46件

- ・内訳は被災建物・被災集落跡などが22件、その他（大型船、仮埋葬跡地など）が24件です。
- ・被災建物22件の中には、被災した学校が7校含まれます。
*学校関係／大川小（石巻）、門脇小（石巻）、谷川小（石巻）、鳴瀬2中（東松島）、荒浜小（仙台）、中野小（仙台）、中浜小（山元）
- ・「その他」23か所には、15か所の仮埋葬跡地が含まれます。
- ・自治体別では、石巻市がもっとも多く18件、次が気仙沼市と女川町でいずれも4件です。また今のところ該当する候補対象物がない自治体は、松島町、利府町、多賀城市です。

○今後の予定

- ・今回の震災遺構保存候補対象物リストは、3.11 震災伝承研究会のホームページ <http://www.tsunami.civil.tohoku.ac.jp/hokusai3/J/shinsaidensho/> に掲載します（PDF形式）。
- ・まだ様々な震災遺構があるものと思われることから、研究会としてもさらに調査を進めます。また地域の皆さんにも広く情報をいただきたいと考えています。情報はメールで、311densyo@gmail.com までお寄せください。

震災遺構保存対象物集計（第1回公表用）

	対象自治体	被災建物・被災集落跡など	その他 (大型船、仮埋葬跡地など)	計	備考
1	気仙沼市	0	4	4	「その他」に「第18共徳丸」とその周辺、仮埋葬跡地2か所を含む
2	南三陸町	1	1	2	防災対策庁舎にその周辺を含む
3	石巻市	10	8	18	「その他」に仮埋葬跡地7か所を含む
4	女川町	3	1	4	「その他」に仮埋葬跡地1か所を含む
5	東松島市	2	1	3	鳴瀬2中にその周辺を含む。 「その他」に仮埋葬跡地1か所を含む
6	松島町	0	0	0	
7	塩竈市	0	3	3	
8	七ヶ浜町	1	0	1	
9	利府町	0	0	0	
10	多賀城市	0	0	0	
11	仙台市	3	0	3	
12	名取市	1	0	1	
13	岩沼市	0	1	1	
14	亘理町	0	3	3	「その他」に仮埋葬跡地3か所を含む
15	山元町	1	2	3	「その他」に仮埋葬跡地1か所を含む
	計	22	24	46	

- ・学校関係／大川小（石巻）、門脇小（石巻）、谷川小（石巻）、鳴瀬2中（東松島）、荒浜小（仙台）、中野小（仙台）、中浜小（山元）
- ・「その他」22か所のうち15か所が仮埋葬跡地

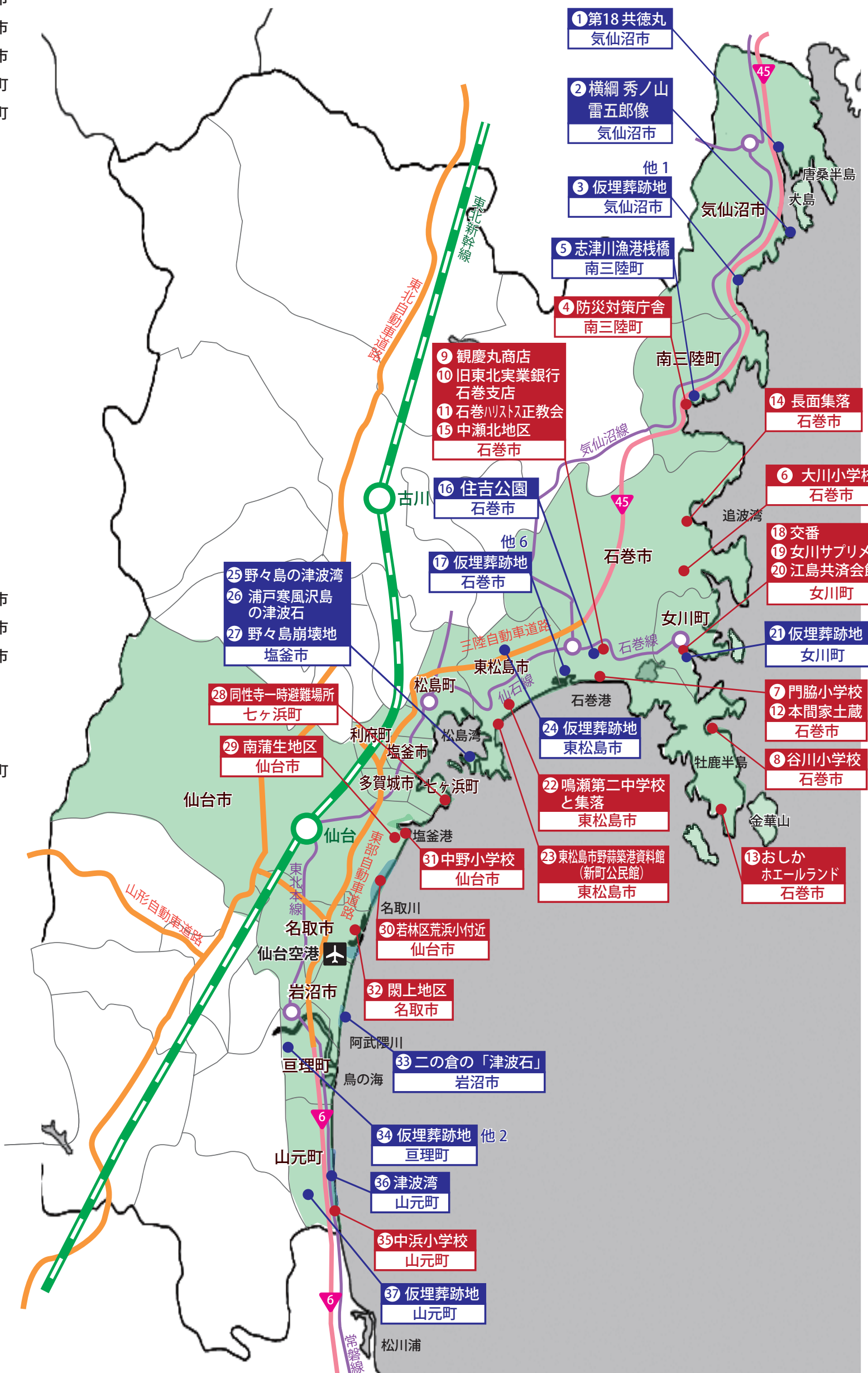
震災遺構保存候補対象物リスト（第1回公表用）

NO	対象物名称	自治体	所在地	選考理由
1	第18共徳丸	気仙沼市	鹿折地区	大津波が大型船舶を漂流させて甚大な被害が出た。大津波の脅威を実感させる代表的な遺構
2	横綱 秀ノ山雷五郎像	気仙沼市	岩井崎	第9代横綱の銅像。津波に負けずに残った希望のひとつ
3	仮埋葬跡地	気仙沼市	2か所	津波により多くの人が犠牲になった。その後の応急対策がいかに困難を極めたかという証として
4	防災対策庁舎	南三陸町	志津川字塩入	町職員ら42人が犠牲になった。犠牲者の慰霊の場、大津波の威力や震災を語り継ぐ場として。行政庁舎の地震・津波対策の必要性、重要性を次世代に伝えるためにも
5	志津川漁港棧橋	南三陸町	本浜町	地震による地盤沈下の状況が見て分かる。一部を保存することで、地盤沈下だけでなく、困難を極めた復旧・復興について後世へ語り継ぐ資料とする
6	大川小学校	石巻市	釜谷山根	津波で児童、教職員84人が死亡・行方不明になった。犠牲者の慰霊の場、今後の学校の減災対策を考え啓発する場として
7	門脇小学校	石巻市	門脇4丁目	津波火災で焼失した唯一の学校
8	谷川（やがわ）小学校	石巻市	大谷川浜二重坂	昭和3陸津波の石碑を含め、防災教育にとって大切な教訓を残した。過去の経験や想定に縛られずに地域住民が津波を警戒、連携して児童や住民を守った
9	観慶丸商店	石巻市	中央3丁目	被災した歴史的建造物（昭和5年築）として
10	旧東北実業銀行石巻支	石巻市	中央3丁目	被災した歴史的建造物（大正14築）として
11	石巻ハリストス正教会	石巻市	中瀬	津波被害から残った歴史的建造物として。明治13年築。1978年（昭和53年）の宮城県沖地震で損壊し、1980年に現在地に移転し復元した。市は移築復元する方針
12	本間家土蔵	石巻市	門脇町2丁目	明治30年築。津波被害から生き残った歴史的建造物として
13	おしかホエールランド館	石巻市	鮎川浜南	キャッチャーポートを含め仙台藩が編成した鯨組という捕鯨組織の基地（鮎川港）の象徴的な存在。日本の伝統的食文化としての鯨料理を守るためにも
14	長面集落	石巻市	長面浦	地球の活動で陸地が海に変化した。地盤沈下と大津波により地域が水没し壊滅、日常生活が流失した。大震災の被災状況が景観から典型的に分かる。徐々に水が引いて陸地が戻っている。復興の過程を写真アーカイブで保存し、「大地変動と人との共生」「人の英知」を訴えかけることができる
15	中瀬北地区	石巻市	中瀬（内海橋の北側の一画）	1m程度地盤が沈下、満潮時には地面がほぼ水面下に。地盤沈下の被害が明確に分かる
16	住吉公園	石巻市	住吉町1丁目	石巻の名前の由来である「巻き石」の保存
17	仮埋葬跡地	石巻市	7か所	津波により多くの人が犠牲になった。その後の応急対策がいかに困難を極めたかという証として
18	交番	女川町	鷲神浜	国内で初めて転倒したRC造建築物。津波の破壊力を物語る象徴として。他の2棟と一緒に残すことで偶然の被災ではないことが分かる。被災中心地にあり、訴える力は大きい
19	女川サプリメント	女川町	鷲神浜	国内で初めて転倒したRC造建築物。津波の破壊力を物語る象徴として。他の2棟と一緒に残すことで偶然の被災ではないことが分かる。被災中心地にあり、訴える力は大きい
20	江島共済会館	女川町	鷲神浜	国内で初めて転倒したRC造建築物。津波の破壊力を物語る象徴として。他の2棟と一緒に残すことで偶然の被災ではないことが分かる。被災中心地にあり、訴える力は大きい
21	仮埋葬跡地	女川町	1か所	津波により多くの人が犠牲になった。その後の応急対策がいかに困難を極めたかという証として
22	鳴瀬第二中学校と集落	東松島市	南余景	中学校は、正面校舎の1階と2階、および海側と陸側での破壊状況（窓のフレームの破壊状況）が大きく異なることが分かる。敷地内には、第二校舎、体育館などがあり、被害は正面校舎より軽微だった 集落は消滅、松林もなぎ倒され、津波の脅威を如実に示す
23	野蒜築港資料館（新町公民館）	東松島市	東松島市野蒜（新町）、 鳴瀬川河口（右岸）	地域（新町）地区での指定津波避難場所だった。避難した住民に犠牲者はいない。ただし、地上1.4m程度まで浸水があり、資料館の南西方向には、当時、津波で流された家屋が地上のアスファルトの上を引きずられた跡が残っている。津波の破壊力を物語る建物。河口には国交省が設置した津波到達（河川遡上域）の案内板がある
24	仮埋葬跡地	東松島市	1か所	津波により多くの人が犠牲になった。その後の応急対策がいかに困難を極めたかという証として
25	野々島の津波湾	塩釜市	浦戸諸島野々島	津波がもたらした人工物と自然の合作による世界唯一の自然景観。山元町の津波湾よりは小規模だが、自然の驚異を伝える学術的にも貴重な自然現象
26	浦戸寒風沢島の津波石	塩釜市	浦戸寒風沢島 伝左衛門新田	地震時の崩壊で発生した大量の岩塊が、津波で付近一帯の放棄水田に押し流され、大小の岩塊が残存している。今回の津波による津波石の発生は、他にあまり例がない。地震と津波の脅威を示すとともに、津波力を定量的に評価できる科学遺産としても貴重

NO	対象物名称	自治体	所在地	選考理由
27	野々島崩壊地	塩釜市	浦野野々島柳浜宇内浜および陰田島一帯	野々島の外洋側にある3カ所のポケットビーチと半島、陰田島などは地震と津波双方の被害を如実に記録している。陰田島（別名花魁島）は地震前、屏風のような特異な形で観光の目玉だったが、今回の地震時に外形を大きく変形させる崩壊が発生した。海底の状況や、柳浜に生じた津波湾や近隣の崩壊群も含め、地震の震害と津波被害の複合破壊を象徴する。破壊は自然史を具体的に物語る貴重な科学・自然・伝承・景観遺産
28	同性寺一時避難場所	七ヶ浜町	花淵浜	同性寺は、地域の自主防災組織が防災マップや想定津波浸水深に基づいて設定した一時避難場所だった。実際の津波は想定よりも2m以上も高かったが、避難した約60人の住民は、防災リーダーの機転で高所へ再避難して全員無事だった。想定をうのみにせず、最善を尽くす行動がいかに重要か。記念碑など何らかの形で記録、伝承する
29	南蒲生地区	仙台市	宮城野区蒲生	仙台湾の松林を主体とする海岸林は、倒壊、破壊、流失など極めて大規模で多彩な被害を受けた。この地域は、その様相を如実に示し、津波の力がいかに巨大かを物語る。再生する自然の粘り強さ、海岸林の津波減衰効果を示す場として重要
30	若林区荒浜小付近	仙台市	若林区三本塚北	五柱神社を中心とした藤塚集落や狐塚神社などを含む七北田川から名取川までの約10キロの地域。津波の破壊力を物語る住宅の基礎群が残る。荒浜小学校は津波来襲時に避難場所として機能、震災を伝える場となる
31	中野小学校	仙台市	宮城野区中野	七北田川左岸に位置する2階建ての校舎。低層だったが、屋上まで津波は到達せず、避難した約600人が助かった建物として
32	関上地区	名取市	関上地区	被災した住宅の基礎群が広がる被災地の光景。津波の広域的な破壊力を示し、その悲劇的な当時の状況と復興への第一歩を実感できる
33	二の倉の「津波石」	岩沼市	二の倉一帯	津波による破壊と運搬のメカニズムが理解できる。過去の津波の歴史（規模や時代など）を知る手がかりとしての津波石の学術的意義が理解できる
34	仮埋葬跡地	亶理町	3か所	津波により多くの方が犠牲になった。その後の応急対策がいかに困難を極めたかという証として
35	中浜小学校	山元町	坂元	津波の破壊力と生還した90人の英知を物語る建物遺構
36	津波湾	山元町	中浜小付近	津波がもたらした人工物と自然の合作による世界唯一の自然景観。形成過程も科学的に明らかにされており、学術的に極めて貴重
37	仮埋葬跡地	山元町	1か所	津波により多くの方が犠牲になった。その後の応急対策がいかに困難を極めたかという証として

注) 網掛けは被災建物・集落跡関係

- ① 「第18共徳丸」 気仙沼市
- ② 横綱 秀ノ山雷五郎像 気仙沼市
- ③ 仮埋葬跡地 (2ヶ所) 気仙沼市
- ④ 防災対策庁舎 南三陸町
- ⑤ 志津川漁港棧橋 南三陸町
- ⑥ 大川小学校 石巻市
- ⑦ 門脇小学校 石巻市
- ⑧ 谷川 (やがわ) 小学校 石巻市
- ⑨ 観慶丸商店 石巻市
- ⑩ 旧東北実業銀行石巻支店 石巻市
- ⑪ 石巻ハリストス正教会 石巻市
- ⑫ 本間家土蔵 石巻市
- ⑬ おしかホエールランド 石巻市
- ⑭ 長面集落 石巻市
- ⑮ 中瀬北地区 石巻市
- ⑯ 住吉公園 石巻市
- ⑰ 仮埋葬跡地 (7ヶ所) 石巻市
- ⑱ 交番 女川町
- ⑲ 女川サプリメント 女川町
- ⑳ 江島共済会館 女川町
- ㉑ 仮埋葬跡地 (1ヶ所) 女川町
- ㉒ 鳴瀬第二中学校と集落 東松島市
- ㉓ 東松島市野蒜築港資料館 (新町公民館) 東松島市
- ㉔ 仮埋葬跡地 (1ヶ所) 東松島市
- ㉕ 野々島の津波湾 塩釜市
- ㉖ 浦戸寒風沢島の津波石 塩釜市
- ㉗ 野々島崩壊地 塩釜市
- ㉘ 同性寺一時避難場所 七ヶ浜町
- ㉙ 南蒲生地区 仙台市
- ㉚ 若林区荒浜小付近 仙台市
- ㉛ 中野小学校 仙台市
- ㉜ 閑上地区 名取市
- ㉝ 二の倉の「津波石」 岩沼市
- ㉞ 仮埋葬跡地 (3ヶ所) 亶理町
- ㉟ 中浜小学校 山元町
- ㊱ 津波湾 山元町
- ㊲ 仮埋葬跡地 (1ヶ所) 山元町



被災建物・集落跡	新幹線
その他の遺構	在来線 (沿岸部)
	高速道路
	国道